

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部	子ども家庭部
	節	1 ともに支えあう、心豊かな健康づくり			

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	※●は評価主体		

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 健康づくり懇話会の設置数	14か所	—	—	—	—	19か所	—	—	—	—	22か所
	—	16か所	16か所	17か所	17か所	17か所	17か所	17か所	18か所	19か所	—
② ヘルシーチェック受診者数(20歳～39歳の市民を対象に市で行っている健康診査)	241人	—	—	—	—	350人	—	—	—	—	400人
	—	317人	290人	343人	293人	228人	276人	296人	281人	258人	—
③ 大腸がん検診受診率(40歳以上の市民を対象に市で行っている検診)	35.60%	—	—	—	—	40%	—	—	—	—	50%
	—	33.4%	31.1%	30.4%	29.5%	25.7%	28.0%	27.9%	27.6%	27.6%	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 心豊かな健康づくりの推進	22,616	3	2	1	0	健康増進課
2 保健サービスの充実	713,974	4	0	4	0	健康増進課、子ども家庭支援課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	736,590	7	2	5	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	1 ともに支えあう、心豊かな健康づくり		評価者名 遠藤

評価主体が
推進する
施策の概要

【心豊かな健康づくりの推進】市民自らが主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、健康意識の啓発や地域の実情に合った情報等を提供するとともに、地域住民や町会・自治会、ボランティア等と協働し、健康づくり事業を行う。
 【保健サービスの充実】子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを支援するため、健康増進事業、予防接種事業を充実させる。また、医療や福祉の関係機関と連携し、市民の健康づくりを支援する体制を強化する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明) 心豊かな健康づくりの推進では、健康マイレージ事業の後継事業であるコバトンALKOO(あるこう)マイレージ、高齢者保健介護予防一体化事業を開始するとともに、「第3次八潮市健康づくり行動計画」及び「第2次八潮市いのちを支える自殺対策計画」を策定した。また、コロナ禍を経て5年ぶりに「健康まつり」を実施した。保健センター管理運営事業は、保健センター移転のため担当課に引き継いだ。 保健サービスの充実では、がん検診等の健康増進事業を実施するとともに、アピアランスケア用品購入費用助成を開始した。予防接種事業では、従来の定期接種に加えて、定期接種のB類として新型コロナワクチン接種を実施した。						
	<table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 25%;">課題はほとんどない</td><td style="width: 25%;">● ある程度課題がある</td><td style="width: 25%;">大きな課題がある</td><td style="width: 25%;"></td></tr></table>				課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある					
課題	<p>心豊かな健康づくりの推進では、様々な世代が健康づくりに関心を持ち、自分が望む情報を収集することができ、身近なところで気軽に健康づくりに取り組める環境を整える必要がある。また、健康づくりを推進するには、市民が主体となるよう、地域づくりや仲間づくりへの支援が必要である。</p> <p>保健サービスの充実の健康増進事業においては、生活習慣病を予防し、健康の保持増進を図るために、各種検診受診勧奨や周知啓発、健康教育等を充実させる必要がある。また、予防接種事業では、適切な時期に接種ができるよう引き続き周知を行い、定期接種における接種率の向上を図る必要がある。</p>						

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	心豊かな健康づくりの推進では、各種計画を予定どおりに策定し、5年ぶりに健康まつりを実施することができた。 保健サービスの充実では、成果指標である受診率は目標に届かない状況だが、すべての事業を計画どおり実施できた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かって、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かって、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
施策の 展開方針	(説明) 心豊かな健康づくりの推進では、市民が自分の健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるよう、積極的な情報発信や環境整備を行う。 保健サービスの充実の健康増進事業においては、健康の保持増進、疾病の早期発見のため、市民への啓発及び個々に合わせた保健指導等について、適宜見直しを行なながら実施し、事業参加者の増加、検診受診率の向上を図り市民の健康増進に努める。また、予防接種事業においては、接種者の安全性及び利便性の面から、引き続き、かかりつけ医のもとで円滑に接種ができるよう医師会や医療機関と協議しながら実施していく。		
■ 重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業
章	節	施策	
1	02	01 01	心豊かな健康づくりの推進 健康づくり推進事業
2	02	01 01	心豊かな健康づくりの推進 高齢者保健介護予防一体化事業
3	02	01 02	保健サービスの充実 健康増進事業
4	02	01 02	保健サービスの充実 予防接種事業
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	担当部	● 子ども家庭部	健康福祉部
	節	1 ともに支えあう、心豊かな健康づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民は、自分自身の健康について関心をもち、自らの健康づくりに主体的に取り組むとともに、地域の中でもともに支え合いながら、心豊かに健康でいきいきと暮らしています。また、それぞれの年代に応じた健康に関する情報等をいつでも手軽に入手しながら、身近なところで健康づくりを実践しています。	
			※●は評価主体	

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 健康づくり懇話会の設置数	14か所	—	—	—	—	19か所	—	—	—	—	22か所
	—	16か所	16か所	17か所	17か所	17か所	17か所	17か所	18か所	—	—
② ヘルシーチェック受診者数(20歳～39歳の市民を対象に市で行っている健康診査)	241人	—	—	—	—	350人	—	—	—	—	400人
	—	317人	290人	343人	293人	228人	276人	296人	281人	—	—
③ 大腸がん検診受診率(40歳以上の市民を対象に市で行っている検診)	35.60%	—	—	—	—	40%	—	—	—	—	50%
	—	33.4%	31.1%	30.4%	29.5%	25.7%	28.0%	27.9%	27.6%	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 心豊かな健康づくりの推進	22,616	3	2	1	0	健康増進課
2 保健サービスの充実	713,974	4	0	4	0	健康増進課、子ども家庭支援課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	736,590	7	2	5	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子ども家庭部
	節	1 ともに支えあう、心豊かな健康づくり		評価者名 宇田川

評価主体が
推進する
施策の概要

【保健サービスの充実】妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない母子保健事業を実施する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	保健サービスの充実においては、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう既存の取組みである「伴走型相談支援」を生かしながら、経済的支援を一体的に行う「出産子育て応援事業」を実施した。 また、産後の母親の身体的回復と心理的安定を促進し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう助産師などの専門職により育児指導等を行う「産後ケア事業」を実施した。		
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある		
	保健サービスの充実では、核家族化が進み、地域のつながりも希薄になるなかで孤独感や不安を抱える妊婦・子育て世帯も少なくないため、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境整備を行うとともに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の更なる充実を図る必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由		
☆☆ 概ね順調	母子保健事業では、既存の取組みである伴走型支援を生かしながら、経済的支援を一体的に行う「出産・子育て応援事業」を実施した。また、産後の母親の身体的回復と心理的安定を促進し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう助産師などの専門職により育児指導等を行う「産後ケア事業」の内容の拡大や申請方法の見直しを実施した。		

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
施策の 展開方針	(説明)		
	児童福祉法の改正に伴い、児童福祉分野の「子ども家庭総合支援拠点」と母子保健分野の「子育て世代包括支援センター」について、双方の設立の意義やこれまで果たしてきた機能や意義を維持したうえで組織を見直し、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの一体的な相談支援を行う機関である「こども家庭センター」を令和6年4月1日に設置した。 今後も、こども家庭センターにおいて児童福祉と母子保健とが連携を図り、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援を実施していく。		
■ 重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業
章	節	施策	
1	02	01 02 保健サービスの充実	母子保健事業
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部		
	節	2	いのちを守る医療体制づくり				

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民は、かかりつけ医を持ち、日頃から健康について医療機関に相談し、自分自身の健康管理に努めています。また、救急医療体制が整備され、市民は救急時に適切に医療機関を受診でき、安心して暮らしています。

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標										
	実績										
① かかりつけ医（歯科医を含む）を持つ市民の割合	—	—	—	—	—	50%	—	—	—	—	60%
	—	—	—	44.3%	—	—	—	—	39.2%	—	—
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域医療提供体制の充実	11,793	1	0	1	0	健康増進課
2 地域救急医療体制の整備	17,561	2	0	2	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	29,354	3	0	3	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名） 評価者名	健康福祉部 遠藤
	節	2 いのちを守る医療体制づくり		

評価主体が
推進する
施策の概要

【地域医療提供体制の充実】市民が自ら健康管理を行うため、地域の医療機関との協力体制の充実を図りながら、かかりつけ医（歯科医も含む）の定着を推進する。また、専門的な医療機関（産科等）の誘致活動を推進する。
 【地域救急医療体制の整備】初期救急医療体制を確立するため、休日診療所の円滑な運営に努める。また、埼玉県東部南地区の第二次救急医療に協力する医療機関に対し、運営や設備整備のための支援を行うとともに、相談窓口を周知するなど、救急医療体制の充実に努める。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	地域医療提供体制の充実では、各種事業を通じて、かかりつけ医（歯科医）の必要性について啓発を行った。また、地域医療団体及び在宅歯科診療整備事業に対し、補助金を交付するとともに、産科誘致に係る支援方針の見直しを検討した。 地域救急医療体制の整備では、日曜日、祝日、振替休日及び年末年始における初期救急医療として休日診療所を開設し、新庁舎移転に伴い、これまでよりも多くの患者を受け入れ入れることができた。また、埼玉県東部南地区第二次救急に協力する医療機関に対し運営支援を行った。			
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある			
	地域医療提供体制の充実では、健康維持のため、日頃から健康について相談ができるかかりつけ医の必要性について、これまで以上に市民の意識を高める必要がある。また、産科誘致については開設に至っていないため、支援方針を見直す必要がある。 地域救急医療体制の整備では、休日診療所の運営について、医療従事者の継続的な確保が見通せないといった、人的な面の課題や、調達できる薬剤等が限られることによる医療面での課題がある。救急医療対策事業では、総合的な救急医療体制の充実を図るために、関係機関と行政とのより綿密な連携を深める必要がある。			

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	地域の医療機関との協力体制を円滑にするため、地域医療団体及び在宅歯科診療事業への支援を行った。また、休日診療所運営事業では多くの患者を受け入れることが可能となり、総受診者数が昨年度より1.25倍増加した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、成果があがっている）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）
 ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進	
	→	重点化(拡充)	縮小	その他
(説明)	地域医療提供体制の充実では、かかりつけ医の必要性について、様々な機会を捉えて、積極的に周知するとともに、地域医療団体及び在宅歯科診療整備事業に対する補助金交付などにより、地域医療提供体制の充実に努める。また、産科誘致に係る支援方針の見直しを行う。 地域救急医療体制の整備では、初期救急を行う公的医療機関として、休日診療所の長期的な安定した運営の確保に努めるとともに、埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会などを通じて、救急医療提供体制の充実に努める。また、市民に対しては、救急時に適切に医療機関を受診できるよう、救急医療に関する情報の継続的な発信を行っていく。			
施策の 展開方針	■ 重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業	
章	節	施策		
1	02	02 01 地域医療提供体制の充実	地域医療促進事業	
2	02	02 02 地域救急医療体制の整備	休日診療所運営事業	
3	02	02 02 地域救急医療体制の整備	救急医療対策事業	
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部		
	節	3 誰もが安心して生活できる社会づくり				

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	国民健康保険制度や後期高齢者医療制度が安定的に運用され、市民は必要な医療保険サービスを受けることができています。また、国民年金制度に対する理解が進み、市民が制度に基づき年金を受給することができます。

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標										
	実績										
① 特定健康診査受診率 (国の現行基準における市町村国民健康保険の目標値60%)	0.372	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	60%
	—	0.37	0.383	0.378	0.386	0.348	0.374	0.376	0.388	0.381	
② 特定保健指導実施率 (国の現行基準における市町村国民健康保険の目標値60%)	8.60%	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	60%
	—	0.079	0.181	0.084	0.132	0.081	0.159	0.108	0.069	0.066	
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 国民健康保険制度の適切な運用	8,092,556	4	2	2	0	国保年金課
2 後期高齢者医療制度の適切な運用	2,439,417	3	2	1	0	国保年金課
3 国民年金制度の理解促進	5,124	1	1	0	0	国保年金課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	10,537,097	8	5	3	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	3 誰もが安心して生活できる社会づくり		評価者名 遠藤
評価主体が 推進する 施策の概要		【国民健康保険制度の適切な運用】県の国民健康保険運営方針を踏まえ、医療費適正化に向けた取組や保険給付の実施、必要な財源の確保等、国民健康保険制度の適切な運用に努める。 【後期高齢者医療制度の適切な運用】埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、保健事業の実施や保険料の徴収等、後期高齢者医療制度の適切な運用に努める。 【国民年金制度の理解促進】日本年金機構との連携を図り、広報紙やホームページの活用、年金相談等を通じて、国民年金制度の理解促進に努める。		

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	<p>国民健康保険制度の適切な運用では、医療費の適正化に努めるとともに税収を含めた自主財源の確保を図った。</p> <p>後期高齢者医療制度の適切な運用では、埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、保険料の確保等の適切な運用に努めた。</p> <p>国民年金制度の理解促進では、年金制度の周知に努めるとともに、市民から提出された書類の進達などを行った。</p>			
課題	<p>課題はほとんどない</p> <p>● ある程度課題がある</p> <p>大きな課題がある</p>			
	<p>国民健康保険事業では、特定健診の受診率の向上や特定保健指導の実施等による医療費の適正化を進めるほか、保険税水準の統一に向けた取り組みに努める必要がある。</p> <p>後期高齢者医療制度では、高齢化の進行等により、医療費が増加傾向にある中、その財源となる保険料の収納強化に努める必要がある。</p> <p>国民年金制度では、保険料免除制度の拡充など、様々な制度改正に対し日本年金機構と連携しながら、適切に対応することが求められている。</p>			

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	国民健康保険事業では、特定健診・特定保健指導の受診率・実施率において目標値との乖離があったものの、医療費適正化に向けた取り組みを行った。 また、後期高齢者医療制度と国民年金制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、順調に成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）
☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進																																	
	→	重点化(拡充)	縮小																																	
(説明)	<p>国民健康保険事業では、第3期八潮市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期八潮市特定健康診査等実施計画の最終評価を行うとともに、次期計画を策定し、より一層医療費の適正化に努め、被保険者の健康の保持・増進に努める。</p> <p>また、県の国民健康保険運営方針に基づき、保険税水準の統一に向けた取り組みの推進に努める。</p> <p>後期高齢者医療制度では、制度改正の動向を注視しつつ、埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、制度の適切な運用に努める。</p> <p>国民年金制度では、日本年金機構と連携しながら、様々な制度改正に係る周知や、国民年金制度に対する理解の促進を図り、市民の年金受給権の確保に努める。</p>																																			
施策の 展開方針	<p>■ 重点事業（部で5事業まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施策コード 章</th> <th rowspan="2">節</th> <th rowspan="2">施策</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th>事務事業</th> </tr> <tr> <th>施策コード 章</th> <th>施策の内容</th> <th>事務事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>01 国民健康保険制度の適切な運用</td> <td>国民健康保険保健事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>01 国民健康保険制度の適切な運用</td> <td>国民健康保険税賦課事務</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>01 国民健康保険制度の適切な運用</td> <td>国民健康保険医療費給付事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>01 国民健康保険制度の適切な運用</td> <td>国民健康保険支援事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>02 後期高齢者医療制度の適切な運用</td> <td>後期高齢者医療保険事務</td> </tr> </tbody> </table>			施策コード 章	節	施策	施策の内容	事務事業	施策コード 章	施策の内容	事務事業	1	02	03	01 国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険保健事業	2	02	03	01 国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険税賦課事務	3	02	03	01 国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険医療費給付事業	4	02	03	01 国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険支援事業	5	02	03	02 後期高齢者医療制度の適切な運用	後期高齢者医療保険事務
施策コード 章	節	施策	施策の内容					事務事業																												
				施策コード 章	施策の内容	事務事業																														
1	02	03	01 国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険保健事業																																
2	02	03	01 国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険税賦課事務																																
3	02	03	01 国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険医療費給付事業																																
4	02	03	01 国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険支援事業																																
5	02	03	02 後期高齢者医療制度の適切な運用	後期高齢者医療保険事務																																

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●市民活力推進部		
	節	4	スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり				

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民の誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみ、体を動かすことの楽しさを実感し、体力の維持向上、ストレスからの開放等、心身ともに健康で楽しく毎日を過ごしています。

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① スポーツ教室の開催数と参加者数	5教室 98人	—	—	—	—	7教室 140人	—	—	—	—	10教室 200人
	—	6教室 99人	38教室 717人	41教室 843人	27教室 616人	6教室 151人	23教室 1,796人	39教室 906人	61教室 1,165人	65教室 1,110人	
② スポーツ・レクリエーション指導者数	10人	—	—	—	—	15人	—	—	—	—	20人
	—	11人	11人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 スポーツ・レクリエーション活動の推進	16,580	2	0	2	0	スポーツ振興課
2 スポーツ・レクリエーション活動体制の充実	1,669	1	0	1	0	スポーツ振興課
3 スポーツ・レクリエーション団体の育成	5,430	1	0	1	0	スポーツ振興課
4 スポーツ・レクリエーション施設の充実	206,380	1	0	1	0	スポーツ振興課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	230,059	5	0	5	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	4 スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり	評価者名	小林
評価主体が 推進する 施策の概要	平成31年3月に策定した「八潮市スポーツ推進計画」に基づき、次の各施策に取り組む。 (1)「スポーツへの参加機会の充実」では、子どもから成人、高齢者など、だれもがスポーツを楽しめる機会の充実を図る。(2)「スポーツ活動を支える人材と団体の育成」では、スポーツ団体等と連携し、スポーツ活動を支える担い手の発掘・育成とスポーツ団体への支援を行う。(3)「スポーツの場の充実」では、安全で安心して利用できる施設であるとともに、ニーズに合わせた施設となるよう、適切な維持管理と施設の充実に努める。(4)「スポーツを通じたまちづくり」では、スポーツイベントによる地域活性化、スポーツに関する情報発信やトップアスリートとの交流・支援等のほか、子どもの競技力向上等を通じたジュニアアスリートの発掘・育成に取り組む。			

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	(1) スポーツ教室を感染対策を講じながら65教室を実施した。 (2) スポーツ指導者講習会として、元バレーボール選手の大山加奈氏を講師に招き「すべての世代で日本一になった私だから伝えられること」をテーマとした講習会などを開催した。 (3) 文化スポーツセンターの利用停止による影響緩和を図るため、代替施設の整備に着手した。 (4) 公益財団法人サッカー協会が行う、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内小学校10校（全校）、中学校1校で実施した。また、八潮市スポーツ協会と連携しスポーツフェスティバル及び市内一周駅伝大会を開催した。		
課題	課題はほとんどない		
	ある程度課題がある		

(1) スポーツ教室では、大人向けの教室の参加人数については増加しているが、子ども向けの教室の参加人数については減少しているため、身体を動かしてみたくなるきっかけとなるような教室の開催について検討が必要である。
(2) 人材・団体の育成では、学校部活動の地域移行も踏まえ、スポーツ団体の新たな担い手の発掘が急務であり、時代にあつた指導力の向上を図る必要がある。
(3) 新スポーツ施設の整備に向けた検討を進める必要がある。
(4) 埼玉県が実施する「埼玉県ジュニアアスリート（彩の国プラチナキッズ）発掘育成事業」への参加者及び認定者を増やすための取組を進める必要がある。

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	(1) (2) スポーツ教室及びスポーツ指導者講習会では、新たな取組を行ったことで参加人数を増やすことができた。 (3) 施設運営では、代替施設の整備に着手することができた。 (4) JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内小学校10校（全校）と新たに中学校1校で実施することができた。また、スポーツフェスティバル及び市内一周駅伝大会については、昨年度よりも参加者を増やすことができた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）
☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進	●見直して推進	大幅に見直して推進
	→	■重点化(拡充)	縮小
施策の 展開方針	(説明)		
「八潮市スポーツ推進計画」に基づき、次の各施策に取り組む。 (1)「スポーツへの参加機会の充実」では、子どもから成人、高齢者など、だれもがスポーツを楽しめる機会の充実を図る。 (2)「スポーツ活動を支える人材と団体の育成」では、スポーツ団体等と連携し、スポーツ活動を支える担い手の発掘・育成とスポーツ団体への支援を行う。 (3)「スポーツの場の充実」では、文化スポーツセンターの利用停止に伴う代替施設の整備を進めるとともに、新スポーツ施設の整備に向けた検討を進める。また、多くの施設に老朽化が見受けられことから、優先順位を定め、計画的に修繕を行い、すべての施設が安全で安心して利用できるよう、適切な維持管理に努める。 (4)「スポーツを通じたまちづくり」では、スポーツフェスティバルの更なる充実を図るとともに、スポーツに関する情報発信やトップアスリートとの交流・支援等のほか、子どもの競技力向上等を通じたジュニアアスリートの発掘・育成に努める。			
■重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業
章	節	施策	
1			
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】一：課題はほとんどない、〇：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調、☆☆：概ね順調、☆：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部	生活安全部
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	地域の一人ひとりが、人と地域の絆を大切にし、互いに支え合うことにより、誰もが安心して笑顔でいきいきと生活を送っています。また、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができない市民やそのおそれのある市民が、包括的な相談や支援を受けながら、自立し安定した生活を送っています。

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① ボランティア活動団体登録数	89団体	—	—	—	—	108団体	—	—	—	—	118団体
	—	96団体	108団体	111団体	99団体	100団体	96団体	97団体	95団体	119団体	
② 就労支援プログラムに基づく就労率	46.60%	—	—	—	—	47.60%	—	—	—	—	48.60%
	—	58.9%	56.2%	50.0%	29.2%	3.6%	18.3%	36.4%	36.0%	30.0%	
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 相互扶助意識の高揚	21,607	2	2	0	0	社会福祉課、市民課
2 地域福祉環境の整備	0	1	0	1	0	社会福祉課
3 地域福祉活動の充実	86,254	2	2	0	0	社会福祉課
4 生活の安定のための支援	3,581,940	4	1	3	0	社会福祉課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	3,689,801	9	5	4	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名） 評価者名	健康福祉部 遠藤
	節	5 互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり		

評価主体が
推進する
施策の概要

①相互扶助意識の高揚:八潮市社会福祉協議会との共催による「高齢者と障がい者のスポーツの祭典」といった交流事業を開催し、市民の地域福祉活動の増進及び相互扶助意識の高揚を図る。②地域福祉環境の整備:八潮市地域福祉計画に基づき地域福祉の推進に関する各種事業を実施し、人と地域の絆の再生を図り、互いに支え合う地域づくりを推進する。③地域福祉活動の充実:地域福祉の推進に欠かせない八潮市社会福祉協議会や民生委員・児童委員に対する支援を行い地域福祉活動の推進を図る。④生活の安定のための支援:生活保護制度・生活困窮者自立支援事業の適切な運営を図る。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	<p>①八潮市社会福祉協議会との共催による「高齢者と障がい者のスポーツの祭典」を実施した。②第3期八潮市地域福祉計画に基づき、各種事業を実施した。③八潮市社会福祉協議会と連携しながら、地域福祉に関する各種ボランティア活動への支援を行うとともに、民生委員・児童委員活動が円滑に行えるよう支援を行った。④生活困窮者自立支援相談が337件、住居確保金を8人に支給した。また、保護受給者への就労支援により15人が就労した。</p>			
課題	<p>課題はほとんどない</p> <p>● ある程度課題がある</p> <p>大きな課題がある</p>			
	<p>民生委員・児童委員の委嘱者は109人であり、定員である122人に対し13人の欠員が生じており、なり手を確保する方策を検討する必要がある。</p> <p>社会福祉法の改正により、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業の実施が努力義務化された。本市においても制度の導入に向けた準備が必要となっている。</p>			

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・児童委員協議会等への支援を行うとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・児童委員協議会との連携・協働のもと八潮市地域福祉計画に基づく各種事業に取り組むことで地域福祉の推進が図られており、施策内の各事業も概ね順調に進んでいる。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かって、順調に成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かって、やや遅れているが概ね順調）
☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進																																
	→	重点化(拡充)	縮小																																
(説明)	<p>①相互扶助意識の高揚及び③地域福祉活動の充実では、地域福祉の担い手の中心的な存在である八潮市社会福祉協議会、八潮市民生委員・児童委員協議会や各種福祉ボランティア団体との連携・支援などを通じ、さらなる充実に努める。また、民生委員・児童委員の欠員について、民生委員・児童委員協議会や推薦者となる町会・自治会と連携し、欠員の解消に努める。</p> <p>②地域福祉環境の整備では、八潮市地域福祉計画に位置付けられた、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「障がい者行動計画・障がい福祉計画」、「子ども・子育て支援事業計画」等の進捗管理などに努める。</p> <p>③重層的支援体制整備事業の実施が求められており、早期の実施にむけ、庁内関係部署との調整や他市の視察等準備を進める。</p>																																		
施策の 展開方針	<p>■ 重点事業（部で5事業まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施策コード 章</th> <th rowspan="2">節</th> <th rowspan="2">施策</th> <th>施策の内容</th> <th>事務事業</th> </tr> <tr> <th>施策の内容</th> <th>事務事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>05 02</td> <td>地域福祉環境の整備</td> <td>支援体制整備事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>05 03</td> <td>地域福祉活動の充実</td> <td>民生委員・児童委員協議会補助事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>05 04</td> <td>生活の安定のための支援</td> <td>生活困窮者自立支援事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			施策コード 章	節	施策	施策の内容	事務事業	施策の内容	事務事業	1	02	05 02	地域福祉環境の整備	支援体制整備事業	2	02	05 03	地域福祉活動の充実	民生委員・児童委員協議会補助事業	3	02	05 04	生活の安定のための支援	生活困窮者自立支援事業	4					5				
施策コード 章	節	施策	施策の内容				事務事業																												
			施策の内容	事務事業																															
1	02	05 02	地域福祉環境の整備	支援体制整備事業																															
2	02	05 03	地域福祉活動の充実	民生委員・児童委員協議会補助事業																															
3	02	05 04	生活の安定のための支援	生活困窮者自立支援事業																															
4																																			
5																																			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●生活安全部	健康福祉部
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	地域の一人ひとりが、人と地域の絆を大切にし、互いに支え合うことにより、誰もが安心して笑顔でいきいきと生活を送っています。また、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができない市民やそのおそれのある市民が、包括的な相談や支援を受けながら、自立し安定した生活を送っています。

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① ボランティア活動団体登録数	89団体	—	—	—	—	108団体	—	—	—	—	118団体
	—	96団体	108団体	111団体	99団体	100団体	96団体	97団体	95団体	—	—
② 就労支援プログラムに基づく就労率	46.60%	—	—	—	—	47.60%	—	—	—	—	48.60%
	—	58.9%	56.2%	50.0%	29.2%	36.0%	18.3%	36.4%	36.0%	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 相互扶助意識の高揚	21,607	2	2	0	0	社会福祉課、市民課
2 地域福祉環境の整備	0	1	0	1	0	社会福祉課
3 地域福祉活動の充実	86,254	2	2	0	0	社会福祉課
4 生活の安定のための支援	3,581,940	4	1	3	0	社会福祉課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	3,689,801	9	5	4	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名） 評価者名	生活安全部 向
	節	5 互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり		

評価主体が
推進する
施策の概要

1. 市民の死亡による葬祭を行った者に対し、葬祭助成金2万円を支給する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	葬祭助成金2万円を支給した。【支給者数883人】 ○支給率：87.8% (支給者数883人／死亡者数1,006人)			

課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	葬祭助成事業は、葬祭対象者が高齢者に限らず全市民を対象とする事業であることから、葬祭助成申請手続が煩雑にならないよう工夫することが必要である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	葬祭助成金を支給することにより、市民の葬祭費負担の軽減を図ることができた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向か、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向か、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
(説明)	市内には火葬場がないことから、市民の葬祭費負担の軽減を図ることを目的に葬祭助成金を支給しており、今後も負担軽減のために継続実施する。		

■ 重点事業（部で5事業まで）					
章	節	施策コード	施策の内容		事務事業
			施策	内容	
1	02	05 01	相互扶助意識の高揚		葬祭助成事業
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部		
	節	6 安心して暮らせ活躍できる長寿社会づくり				

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	高齢者が安心して暮らせ、健康で生きがいをもって、住み慣れた地域で自立した生活を送っています。また、介護が必要な高齢者を市民ぐるみで支え合えるまちとなっています。			

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標										
	実績										
① 一次（一般介護）予防事業参加者率	40.40%	—	—	—	—	41.00%	—	—	—	—	42.00%
	—	42.2%	43.3%	23.6%	20.6%	7.1%	15.2%	21.3%	18.8%	15.8%	—
② 要介護等認定者出現率（後期高齢者）	24.50%	—	—	—	—	24.50%	—	—	—	—	24.50%
	—	24.0%	23.8%	23.3%	23.5%	23.4%	23.7%	24.2%	24.4%	25.0%	—
③ 老人クラブ会員数	1,929人	—	—	—	—	2,040人	—	—	—	—	2,140人
	—	1,847人	1,795人	1,749人	1,663人	1,568人	1,483人	1,393人	1,248人	1,183人	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 社会参加の促進と生きがいづくり	50,761	1	0	1	0	長寿介護課
2 高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	79,597	5	1	4	0	長寿介護課
3 地域支援事業の推進	244,965	1	0	1	0	長寿介護課
4 介護保険サービスの充実	6,828,958	3	2	1	0	長寿介護課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	7,204,281	10	3	7	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	6 安心して暮らせ活躍できる長寿社会づくり		評価者名 遠藤
評価主体が 推進する 施策の概要	①社会参加の促進と生きがいづくり：高齢者が個々のニーズに即した活動を選択できるよう情報提供に努めるとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮市シルバー人材センター、老人クラブ連合会等の団体との連携を推進します。②高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備：高齢者が安心して生活を送ることができるよう高齢者在宅支援サービスや住まいの支援を充実します。③地域支援事業の推進：介護予防や日常生活支援サービスを充実するとともに、地域課題の把握や解決に向けた支援を行う地域ケア体制を充実します。また、地域での支えあい体制づくりを推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築を取り組みます。④介護保険サービスの充実：介護保険制度に基づく居宅サービス、地域密着型サービス及び施設サービスの充実を図るため、介護基盤整備を促進します。また、サービスの質の維持・向上、介護保険制度の安定的な運営に努めます。			

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明) ①高齢者の社会参加の促進を図るため、八潮市社会福祉協議会や八潮市シルバー人材センター、老人クラブ等の活動を支援した。 ②栄養バランスの取れた食事の提供と安否確認を行う「配食・安否確認サービス」を99名、12,042食実施した。③介護予防事業として、介護予防教室（延べ11,447人参加）やフレイルチェック事業（延べ252人参加）等を行った。また、認知症に係る施策として「オレンジカフェ」を市内4か所の地域包括支援センターで計48回開催（延べ1,353人参加）したほか、認知症サポーター養成講座の開催、徘徊高齢者家族支援事業などを行った。④介護サービス給付費、介護予防サービス給付費合わせて対前年度比109%と増加し、介護保険サービスが必要な方への適正な給付に努めた。			
	課題			
課題	課題はほとんどない			
	ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増加する中で、要介護状態になつても安心して生活できる介護保険サービスの基盤整備や、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けた取組が求められている。また、認知症施策や徘徊高齢者家族支援の充実が課題となっている。			

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	令和5年度に策定した第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、事業を実施した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向か、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向か、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進	●見直して推進	大幅に見直して推進	
	→	■重点化(拡充)	□縮小	△その他
施策の 展開方針	(説明) 本市における65歳以上の高齢者人口は20,902人（令和6年10月1日）で、高齢化率は22.35%。 さらに、要介護認定率の高まる75歳以上の高齢者数は12,379人、割合は13.25%となっており、増加傾向にある。 こうした状況を踏まえ、老人クラブや八潮市シルバー人材センターなどの団体への支援による高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進するとともに、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活ができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けて、フレイルチェック測定会や介護予防教室の実施、認知症に係る施策の推進、在宅医療・介護連携の推進など、令和5年度に策定した第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、各種事業を着実に実施する。			
■重点事業（部で5事業まで）				
施策コード	施策の内容		事務事業	
章	節	施策		
1	02	06 04	介護保険サービスの充実	
2	02	06 03	地域支援事業の推進	
3	02	06 02	高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】★★★：順調、★★：概ね順調、★：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部	子ども家庭部
	節	7 障がい者の安心を支える社会づくり			

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	障がいのある人が、自分に適したサービスを自ら選び、地域の中で自立して生活しています。また、障がいのある人が、障がいのない人とともに社会の様々な分野に積極的に参加し、かけがえのない個人として尊重される地域の中で生活しています。					

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 特定相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所数	2か所	—	—	—	—	6か所	—	—	—	—	10か所
	—	3か所	3か所	4か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	—
② 障がい者（児）に対する障がい福祉サービス及び障がい児通所給付の利用割合	8.50%	—	—	—	—	9.80%	—	—	—	—	10.30%
	—	13.5%	15.5%	16.9%	17.4%	18.4%	11.1%	11.9%	12.8%	13.5%	—
③ 就労支援センター登録者の就労率	33.70%	—	—	—	—	41%	—	—	—	—	46%
	—	40.7%	43.6%	45.6%	41.1%	44.5%	47.4%	53.2%	57.2%	63.5%	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 在宅福祉サービスの充実	1,953,410	6	2	4	0	障がい福祉課
2 障がい者（児）施設・住環境の整備	87,478	3	1	2	0	障がい福祉課
3 障がい児等の早期療育の充実	671,886	2	0	2	0	障がい福祉課、保育幼稚園課
4 社会参加の促進	3,750	2	0	2	0	障がい福祉課
5 安全、安心のまちづくりの推進	17,708	2	0	2	0	障がい福祉課
6						
7						
8						
9						
10						
計	2,734,232	15	3	12	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名） 評価者名	健康福祉部 遠藤
	節	7 障がい者の安心を支える社会づくり		
評価主体が 推進する 施策の概要	<p>①在宅福祉サービスの充実→障がい福祉サービスや在宅福祉サービスを充実するとともに、関係機関と連携して相談体制の整備を行う。</p> <p>②障がい者（児）施設・住環境の整備→障がいのある人の日中活動の場の確保と充実に努め、生活しやすい住環境づくりを促進する。</p> <p>③障がい児等の早期療育の充実→乳幼児健診等により、障がいの早期発見に努め、障がいの状況に応じた適切な指導、訓練の実施に努める。</p> <p>④社会参加の促進→障がい者の就労支援を行うとともに、障がいのある人が文化やスポーツ活動を通じて障がいのないとの交流を促進する。</p> <p>⑤安全、安心のまちづくりの推進→移動手段の確保、建築物や道路、公共交通機関のバリアフリー化を進めるとともに、障がいのある人の権利保護に努める。</p>			

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	<p>①基幹相談支援センターを中心に相談体制の強化を図った。</p> <p>②障がい者福祉施設や地域活動支援センターにおいて日中活動の場の提供を行った。</p> <p>③障がい児通所サービスを提供するとともに、発達支援巡回事業を実施し、障がいの早期発見・早期療育に努めた。</p> <p>④就労支援センター業務を委託により実施し、就職や就労定着の支援を行った。</p> <p>⑤障害者差別解消法、手話言語条例、ヘルプカード・ヘルプマークの周知、普及に努めた。</p>			
課題	<p>課題はほとんどない</p> <p>● ある程度課題がある</p> <p>大きな課題がある</p>			
	<p>障がい者の重度化、高齢化や「親亡き後」を見据えた、地域支援の体制（地域生活支援拠点の整備）を構築していく必要がある。緊急時などに必要とされるサービスの円滑な利用につながるよう、関連する部署や関係機関、事業所とも連携し、機能強化、場所の確保等に努めるなど、障がい者を地域全体で支援する体制の整備を進めていくこととする。</p> <p>障がい者が地域で安心して暮らせるよう、障がい者への差別解消、権利保護等より一層理解を深めるための取組み、環境整備を推進することも課題である。</p>			

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	第8次八潮市障がい者行動計画・第7期八潮市障がい福祉計画に基づき、障がい福祉施策を実施した。また、自立支援協議会の各専門部会等を通じて、市内事業所の情報共有・連携強化に努めるとともに、地域で安心して暮らせるまちづくりの整備に努めた。こうした状況を勘案し、おおむね順調とした。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かって、順調に成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かって、やや遅れているが概ね順調）
☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進																																				
	→	重点化(拡充)	縮小	その他																																			
施策の 展開方針	(説明)																																						
	<ul style="list-style-type: none"> ・第8次八潮市障がい者行動計画・第7期八潮市障がい福祉計画（計画期間：令和6年度～令和8年度）に基づき、各種障がい者支援施策を進め、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の強化に努める。 ・地域生活支援拠点の整備を進める。 ・障がい者（児）の相談支援事業所を増やすための取組みや事業所の質の向上につながる取組み等、相談・支援体制の充実、強化を図る。 ・障がい者が各種サービスを利用しやすくなるよう手帳取得の支援や相談業務を行う。 ・自ら就労先を見つけることや就労の継続が困難な障がい者に対し、就職相談や職場訪問などの支援を行い、就職や就労の定着に繋げる。 ・障がい者が安全で安心して暮らせる住みやすいまちづくりを推進するため、地域での障がいに対する理解を深めるための事業を実施し、より良い環境づくりに努める。 																																						
■ 重点事業（部で5事業まで）																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施策コード 章</th> <th rowspan="2">節</th> <th rowspan="2">施策</th> <th>施策の内容</th> <th>事務事業</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>02</td><td>07</td><td>01 在宅福祉サービスの充実</td><td>障がい者総合支援事業</td></tr> <tr> <td>2</td><td>02</td><td>07</td><td>02 障がい者（児）施設・住環境の整備</td><td>地域活動支援センター事業</td></tr> <tr> <td>3</td><td>02</td><td>07</td><td>03 障がい児等の早期療育の充実</td><td>障がい児発達支援事業</td></tr> <tr> <td>4</td><td>02</td><td>07</td><td>04 社会参加の促進</td><td>障がい者就労支援事業</td></tr> <tr> <td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					施策コード 章	節	施策	施策の内容	事務事業	1	2	3	4	5	1	02	07	01 在宅福祉サービスの充実	障がい者総合支援事業	2	02	07	02 障がい者（児）施設・住環境の整備	地域活動支援センター事業	3	02	07	03 障がい児等の早期療育の充実	障がい児発達支援事業	4	02	07	04 社会参加の促進	障がい者就労支援事業	5				
施策コード 章	節	施策	施策の内容	事務事業																																			
			1	2	3	4	5																																
1	02	07	01 在宅福祉サービスの充実	障がい者総合支援事業																																			
2	02	07	02 障がい者（児）施設・住環境の整備	地域活動支援センター事業																																			
3	02	07	03 障がい児等の早期療育の充実	障がい児発達支援事業																																			
4	02	07	04 社会参加の促進	障がい者就労支援事業																																			
5																																							

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調、☆☆：概ね順調、☆：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	担当部	● 子ども家庭部	健康福祉部
	節	7 障がい者の安心を支える社会づくり			

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	障がいのある人が、自分に適したサービスを自ら選び、地域の中で自立して生活しています。また、障がいのある人が、障がいのない人とともに社会の様々な分野に積極的に参加し、かけがえのない個人として尊重される地域の中で生活しています。

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 特定相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所数	2か所	—	—	—	—	6か所	—	—	—	—	10か所
	—	3か所	3か所	4か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	—	—
② 障がい者（児）に対する障がい福祉サービス及び障がい児通所給付の利用割合	8.50%	—	—	—	—	9.80%	—	—	—	—	10.30%
	—	0.135	0.155	0.169	0.174	0.184	0.111	0.119	0.128	—	—
③ 就労支援センター登録者の就労率	33.70%	—	—	—	—	41%	—	—	—	—	46%
	—	40.7%	43.6%	45.6%	41.1%	44.5%	47.4%	53.2%	57.2%	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 在宅福祉サービスの充実	1,953,410	6	2	4	0	障がい福祉課
2 障がい者（児）施設・住環境の整備	87,478	3	1	2	0	障がい福祉課
3 障がい児等の早期療育の充実	671,886	2	0	2	0	障がい福祉課、保育幼稚園課
4 社会参加の促進	3,750	2	0	2	0	障がい福祉課
5 安全、安心のまちづくりの推進	17,708	2	0	2	0	障がい福祉課
6						
7						
8						
9						
10						
計	2,734,232	15	3	12	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子ども家庭部
	節	7 障がい者の安心を支える社会づくり		評価者名 宇田川

評価主体が
推進する
施策の概要

心身の発達に障がいや遅れのある児童が日常生活における基本動作等を習得するため、必要な指導や訓練等を行う。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)			
	心身障がい児の訓練等を実施した。			
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある			
	民間の児童発達支援施設が増加しているため年間通所児童数は減少傾向にあるが、支援を必要とする児童を円滑に療育に繋げること、対象児童に対する十分なサービスを継続して提供することが課題となっている。特に、個別の訓練に十分な時間をかけて実施することが課題である。			

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	個別の訓練はきめ細かい対応をしているため、成果があがっている。今後も対象児童に対する十分なサービスの提供方法を検討する必要がある。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
(説明)	現状のまま療育指導を継続して実施していく。ただし、利用者数の状況によっては、専門指導の回数をニーズに応じて増減するなど、事業内容の充実を検討する。		
施策の 展開方針			
■ 重点事業（部で5事業まで）			
1	施策コード 章 節 施策	施策の内容	
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調、☆☆：概ね順調、☆：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	担当部	● 子ども家庭部	教育部
	節	8 全ての子どもの幸せづくり			

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	<p>市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。</p> <p>また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。</p> <p>ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	子育てを社会的に支援する体制づくりが進み、充実した保育サービスが受けられることで、安心して子育てができる環境になっています。
			児童手当やこども医療費の支給により、子育て世帯の生活が安定するとともに、子どもの保健の向上と福祉の増進が図られています。

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 保育所等施設の確保提供量 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における保育の量の見込みに基づく）	995人	—	—	—	—	1,183人	—	—	—	—	1,183人
	—	1,057人	1,312人	1,595人	1,601人	1,645人	1,721人	1,759人	1,778人	1,868人	
② 地域子育て支援拠点の整備数 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における地域子育て支援拠点の量の見込みに基づく）	6か所	—	—	—	—	7か所	—	—	—	—	7か所
	—	6か所	6か所	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所	6か所	6か所	
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—										

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 子育て支援の推進	2,099,064	10	7	3	0	子育て支援課
2 保育施設の整備	2,896,565	7	1	5	0	子育て支援課、保育幼稚園課、教育総務課
3 保育内容の充実	602,660	2	0	2	0	保育幼稚園課、教育総務課
4 要保護児童対策の推進	21,207	2	1	1	0	子ども家庭支援課
5 ひとり親家庭等の支援の推進	306,684	1	1	0	0	子育て支援課
6						
7						
8						
9						
10						
計	5,926,180	22	10	11	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子ども家庭部
	節	8 全ての子どもの幸せづくり		評価者名 宇田川

評価主体が
推進する
施策の概要

- (1) 子育て支援の推進：地域子ども・子育て支援事業を充実する。子ども医療費や児童手当、誕生祝金等を支給する。
- (2) 保育施設の整備：保育の需要増に対応するため、認可保育所等を整備する。
- (3) 保育内容の充実：保育士の安定的確保を図り、保育内容を充実する。
- (4) 要保護児童対策の推進：相談・支援体制を強化し、市民、関係機関、行政相互の協力体制を整備する。
- (5) ひとり親家庭等の支援の推進：ひとり親家庭等の自立に向け、総合的な支援を充実する。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	(1) 子育て支援の推進では、利用者支援など地域子ども・子育て支援事業を行うとともに児童手当等の経済的支援を行った。 (2) 保育施設の整備では、保育需要の増加に対応するため、認定こども園1か所を整備した。 (3) 保育内容の充実では、処遇改善事業や研修の実施等により、保育士の安定的な確保及び保育の質の向上に努めた。 (4) 要保護児童対策の推進では、養育支援訪問事業等を実施するとともに、要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関と連携し、児童虐待防止対策に取り組んだ。 (5) ひとり親家庭等の支援の推進では、児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等への医療費の助成をした。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	(1) 子育て支援の推進では、子育て支援事業、経済的支援事業やその手続き方法等について、周知方法等を検討する必要がある。 (2) 保育施設の整備では、少子化の進展を注視するとともに、保育ニーズに応じた整備を検討する必要がある。 (3) 保育内容の充実では、引き続き保育士の安定的な確保を図る必要がある。 (4) 要保護児童対策の推進では、こども家庭センター機能の円滑な運営と体制強化に努める必要がある。 (5) ひとり親家庭等の支援の推進では、確実な財源確保を図る必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てひろばや利用者支援等の地域子ども子育て支援事業を着実に実施している。 ・保育需要の増加に対し適切な施設整備を行っている。 ・要保護児童対策地域協議会における情報共有や適切な支援を実施している。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、成果があがっている）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	見直して推進	大幅に見直して推進
	→	重点化(拡充)	縮小
(説明)			
(1) 「八潮市こども計画」の適切な進行管理を行う。 (2) 保育所の待機児童対策の現状を踏まえ、今後の保育ニーズに応じた保育施設の整備を進める。 (3) 保育士の安定的確保を図るとともに、保育内容の充実を図る。 (4) こども家庭センター機能の円滑な運営を図り、子育てやこどもに関する相談を受けて支援をつなぐためのマネジメントを行うなど、要保護児童対策を推進する。 (5) 児童扶養手当やひとり親家庭等医療費助成制度等の国県からの補助金など財源を確実に確保し、ひとり親家庭等への支援を推進する。			
■ 重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業
章	節	施策	
1	02	08 02	保育施設の整備 保育所整備事業
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】一：課題はほとんどない，〇：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R6年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	担当部	● 教育部	子ども家庭部
	節	8 全ての子どもの幸せづくり			

1. 節の概要

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	<p>市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。</p> <p>また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。</p> <p>ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	子育てを社会的に支援する体制づくりが進み、充実した保育サービスが受けられることで、安心して子育てができる環境になっています。
			児童手当やこども医療費の支給により、子育て世帯の生活が安定するとともに、子どもの保健の向上と福祉の増進が図られています。

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 保育所等施設の確保提供量 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における保育の量の見込みに基づく）	995人	—	—	—	—	1,183人	—	—	—	—	1,183人
	—	1,057人	1,312人	1,595人	1,601人	1,645人	1,721人	1,759人	1,778人	—	—
② 地域子育て支援拠点の整備数 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における地域子育て支援拠点の量の見込みに基づく）	6か所	—	—	—	—	7か所	—	—	—	—	7か所
	—	6か所	6か所	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R6年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 子育て支援の推進	2,099,064	10	7	3	0	子育て支援課
2 保育施設の整備	2,896,565	6	1	5	0	子育て支援課、保育幼稚園課、教育総務課
3 保育内容の充実	602,660	2	0	2	0	保育幼稚園課、教育総務課
4 要保護児童対策の推進	21,207	2	2	0	0	子ども家庭支援課
5 ひとり親家庭等の支援の推進	306,684	1	1	0	0	子育て支援課
6						
7						
8						
9						
10						
計	5,926,180	21	11	10	0	

総合計画 の体系	章（施策の柱）	2 健康福祉・子育て	評価主体（部名）	教育部
	節	8 全ての子どもの幸せづくり		評価者名 千葉

評価主体が
推進する
施策の概要

- (2) 保育施設の整備：学童保育の需要増に対応するため、学童保育所を整備する。
 (3) 保育内容の充実では、放課後学童クラブの体制等について検討し、子どもの健全育成とともに保護者の子育てにおける負担軽減に努めた。

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	(2) 保育施設の整備では、学童保育所の待機児童の解消のため、潮止小学校学区に「コビーアフタースクールしおどめ（定員60名）」を整備し、令和6年4月に開所した。 (3) 保育内容の充実では、放課後学童クラブの体制等について検討した。		
課題	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある		
	(2) 保育施設の整備では、令和6年4月に学童保育所「コビーアフタースクールしおどめ（定員60名）」を整備したが、令和7年4月1日現在で78名の待機児童が発生しており、待機児童対策が急務となっている。 (3) 保育内容の充実では、放課後学童クラブの施設の確保のほか、現在6時30分までとなっている公設公営の学童保育所についても延長保育を求める声があるが、保育人材の確保が困難などの課題がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	待機児童対策や延長保育などの課題がある中でも、着実に施設整備等を実施し、保護者の負担軽減につながっている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向かっており、成果があがっている）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向かっており、やや遅れているが概ね順調）
 ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進	● 見直して推進	大幅に見直して推進
	→	■ 重点化(拡充)	縮小 その他
施策の 展開方針	(説明)		
	(2) 保育施設の整備では、小学校の空き教室等を活用して、令和8年度から4か所の学童保育所を開所し、待機児童の解消に努める。 (3) 保育内容に充実では、現在、18時30分までとなっている公設の学童保育所においても延長保育の実施を検討していく。		
■ 重点事業（部で5事業まで）			
施策コード	施策の内容		事務事業
章	節	施策	
1	02	08 02	保育施設の整備 放課後児童健全育成施設整備事業
2	02	08 03	保育内容の充実 学童保育所管理運営事業
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R6年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

【課題】—：課題はほとんどない、○：ある程度課題がある、●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調、☆☆：概ね順調、☆：遅れ